

5 広報相談に関する取組

若年層や子育て世代を対象に、財務省や金融庁の施策を、予算編成シミュレーションのグループワークや生活に役立つマネー講座など、分かりやすい形で情報発信しています。

地方財政教育プログラム

地域の将来を担う生徒たち自らが「未来の首長」となって、自分たちの住むまちの財政をシミュレーション。そして、未来の自分たちのまちに何が必要か、どんなまちに住みたいかなど、グループで作成した予算を発表し合うことで、持続可能なまちの将来について考える。

概要

○「地方財政教育プログラム」について

東北財務局では、国の財政教育プログラムをアレンジした地方財政教育プログラムを独自に開発し、「国の財政」や「地方公共団体の財政」、「人口減少問題」を一体でシミュレーションできるプログラムを実施している。実施に当たっては、地域のニーズに応じて、フューチャー・デザイン(FD)の考え方を取り入れたり、租税教室と合同で開催する取組も実施。

また、生徒たちが議論した意見を首長に提言する取組も行っている。

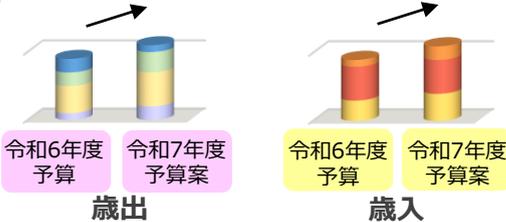
シミュレーションシート上で政策を選択

項目	増減	選択	政策 (お金の使い道)	金額
農林水産 ・商工業	4億円 増加	✓	農業の担い手支援	2億円
		✓	創業の支援	2億円
			大型商業施設の誘致	5億円

活性化につながる政策を選ぶと、
将来人口が増加

2045年推定人口
9,800人 → 10,000人
政策選択すると…(200人増)

歳入・歳出が増減



将来の人口減少を抑制するために色々な取組をしたい…。でも、そのためのお金はどうしよう？



取組の成果

○主権者教育

自分の住んでいる地方公共団体の財政について議論し、政策を決める経験を通して、主権者として財政について主体的に考え、課題を多面的・多角的に捉えて考える人材を育成することが期待される。

○こどもの意見を政策に

地方公共団体は、こどもや若者の意見を聴き、施策に反映することが求められている中、本プログラム及び首長への提言などの取組では、当局がこどもの意見を聞く場を地方公共団体に提供することにより、地域に貢献。



【町長へ提言を手交しました】

東北財務局	地方財政を学びこどもの意見を聴く場を提供
こども	自ら住むまちの将来を考え、政策を提言
地方公共団体	こどもの意見を政策に反映可能

「生徒の感想」
これからの町を担っている若い世代が自分の町に関心を持ち、深く考えることが大切だと感じた



将来の金融経済教育の担い手育成

学校教育における自律的な金融経済教育の推進を図るべく、中長期的観点から金融経済教育の今後の担い手育成のため、複数の大学で教育学部生を支援する機会を開拓。

概要

- 広く定期的に金融経済教育を受けられる機会を提供することが重要である（※）中、教員免許取得を目指す学生等向けに講義や体験学習を実施。

【講義】

- 大学の授業において、**金融リテラシーの基礎知識に係る講演**を行うほか、これまで当局が実施した小学生向け**講義の様**や**参加者の反応、教材等**を紹介。



【大学での講義の様子】

【体験学習】

- 当局が実施する講義に講師等としての参加を呼び掛け、**講義を実施する立場を体験学習**できる機会の提供。

※「国民の安定的な資産形成の支援に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針」において、政府の目標として、「**令和10年度末を目途に『金融経済教育を受けたと認識している人の割合』が米国並みの20%となることを目指す**」ことが掲げられている。

取組の成果

- 学生自身の人生にも、その後教員になったときの授業にも役立つ講義**を実施。
- これにより、**学生自身の金融リテラシー向上に寄与したほか、将来その生徒への波及効果も見込める。**

【受講した学生からの声】

- ・金融教育を将来教える立場を目指すものとして知っておくべきことを分かりやすく教えてもらい、とても参考になった。
- ・金融教育を子どもたちにするときに、どんなところに気を付けて説明したらよいかや教えるべきことを明確に示されていて参考になった。



【教育学部生と協働で小学生向けに講義をした様子】

学童保育向け金融リテラシー講座「お金のきょうしつ」

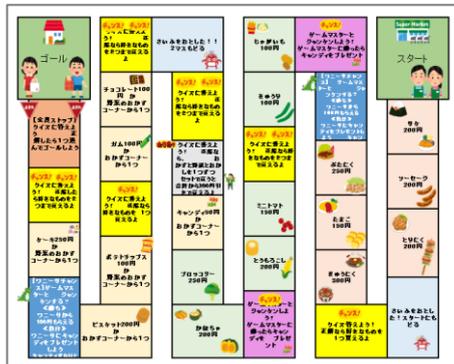
若年層の金融リテラシー向上に向けた取組として、学童保育に通う児童を対象に、「お金」について楽しく学習できる講座を開催。

概要

- 金融リテラシー・マップで示されている「**お金を計画的に使う**」ことの大切さなどについて、早い段階で身に付けてもらうことを目的に、児童(特に小学校低・中学年)を対象として開催。
- 「うんこお金ドリル」クイズ、旧金融広報中央委員会制作のアニメーション「ホシガリ姫の冒険」の視聴、富山財務事務所オリジナル版「おつかいすごろく」の実施のほか、お金の成り立ちや**新紙幣**についての説明など、**児童の興味関心を喚起するプログラム**の中から相手方のニーズに合わせて実施。



【新紙幣の紹介スライド】



【オリジナル版「おつかいすごろく」】

取組の成果

- 学童保育を所管する富山市に事前説明を行い、**担当課を通じ各施設へ案内することで周知効果が高まり**、令和6年4月から12月の間に19先、計592人に対して実施することができた。



【職員が講演する様子】



【アニメーションを視聴する様子】

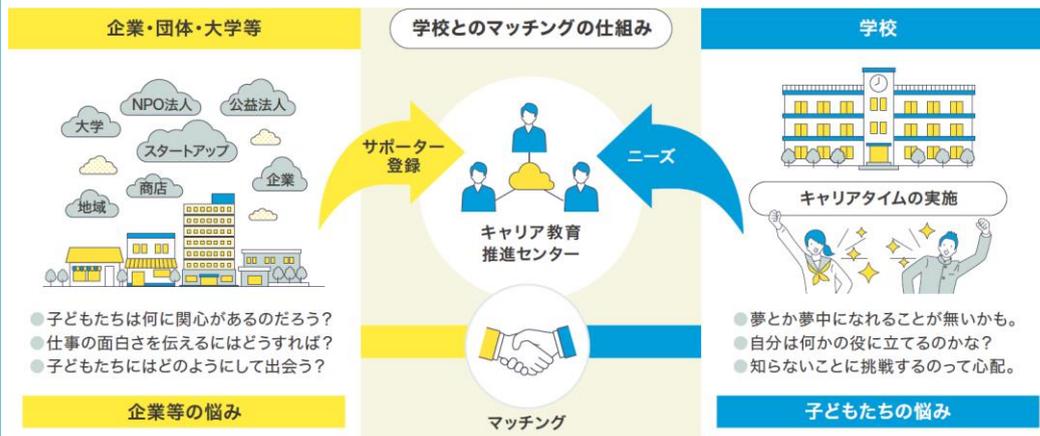
- 金融リテラシー講座の中に、新紙幣発行に係る情報をタイムリーに取り入れるなど、金融庁の事務委任と財務省の地方出先機関の両方の立場を兼ね備えた**財務局ならではの取組**となった。
- 学童保育職員からは「**珍しく児童が静かに集中して聴き入っており、真剣に学んでくれて嬉しかった**」、「**児童が興味を持って面白そうに参加していたので、また来年度もお願いしたい**」といった声をいただいております。今後も内容をブラッシュアップしつつ継続的に開催予定です。

小中学校におけるキャリア教育の推進

名古屋市が推進しているキャリア教育へ貢献するため、ナゴヤキャリアタイムサポーターに登録。職場訪問の受け入れやイベントへの参加のほか、財政教育プログラム（国の財政に係るアクティブラーニング）を通じ東海財務局の業務や財政の役割を子どもたちに伝える。

概要

- 令和6年度から名古屋市がキャリア教育の一層の充実を図るため体験活動やワークを通じた新たな授業「キャリアタイム」を展開
- キャリア教育のための専門機関「キャリア教育推進センター」を設け、全ての市立小中学校・高等学校・特別支援学校で同授業を本格的に導入
- 当局は同センターが募集する「ナゴヤキャリアタイムサポーター」に登録。職場訪問受け入れやイベント参加等によりキャリア教育に貢献



取組の成果

- 以前から職場訪問の受け入れ等を行っていたが、令和6年度以降各校からキャリア教育に係る要請が増加

【ミライトラベルDAY出展】

企業・団体が出展し、子どもたちに本物のヒト・モノ・コトと出会う機会を提供するプログラム

1月28、29日：45分4限×2日
（各回約20名）

参加小学校：28日9校、29日12校

プログラム内容

財政・税と生活とのかかわり（1億円レプリカ使用）
クイズ体験（うんこドリル）
職員インタビュー

【職場訪問受け入れ】

東陵中学校 プログラム（90分）
猪高中学校 業務説明
志段味中学校 職員インタビュー
庁舎内・各課訪問

- 各学校に配置されているキャリアナビゲーター間の口コミで財政教育プログラムが共有され、開催校増加

【財政教育プログラム】令和6年度名古屋市内実施中学校
矢田中学校、天白中学校

ミライトラベルDAYポスター



イベントの様様



幅広い世代のニーズに対応したオーダーメイド講演の実施

東海財務局津財務事務所は、地域からの要望を丁寧に聞き取り、学生向けからシニア向けまで幅広い世代に対し、依頼先のニーズに合わせた満足度の高い財政・金融講演を実施。

概要

- 学生からシニアまで幅広い世代に向けた講演を実施。依頼先の要望、講演対象の世代、受講者の「知りたいこと」を丁寧に聞き取り、**老若男女のニーズに応じて講演内容・実施方法をオーダーメイド。**

小学生～大学生



普段の授業の一環として新聞を読んでいる中で、国の予算が
どういふところに使われているかについて気になる。

⇒ 具体例を増やし、日頃の報道を見聞きする際に
役立つ、年齢に応じた**実践的な内容も織り込む。**

子育て世代



子供と一緒に聞いているから、一目で
分かる資料だといいなあ。

⇒ 子供の世話をしながらでも聞きやす
いよう**目線を揃える紙芝居方式**に。



シニア世代

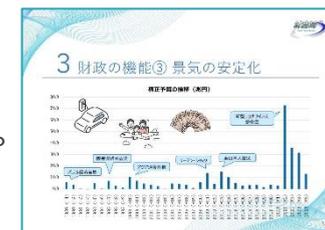


特殊詐欺・金融トラブルが怖い…対策について教えてほしい。

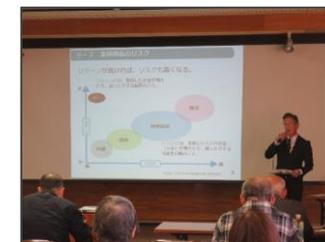
⇒ **特殊詐欺等の防止**を主眼に置き、**警察と合同で**
講演を実施。

取組の成果

- 依頼先と丁寧に調整することで、**受講者にとって有意義で満足度の高い講演を実現。**
継続的に講演を希望する「リピーター」も。
- 受講者の印象に残るような講演とすることで、
地域住民の財政や金融に対するリテラシーの向上に貢献。
- ノウハウや講演資料の蓄積等により、今後も
様々な講演依頼へ柔軟かつ継続的な対応が可能に。



オリジナル講演資料



シニア向け講演の様子

参加者の声

- ・お金のことについて気になっていたけど、学ぶ場がない状況だったので、
とてもよい機会になりよかった！
- ・講演者の経験に即した具体例紹介を次から次へと語りかけるように
紹介いただき、分かりやすく聞き入りました！

大阪教育大学と連携し財政教育の担い手を育成

近畿財務局は、大学と連携協定を締結。社会科教員を志す学生等への財政教育を通じ、担い手育成に取り組んでいく。

概要



財務省近畿財務局 × 国立大学法人 大阪教育大学

- 近畿財務局では、学校向けの財政教育の普及・広報活動に取り組んでいる。また、令和4年度から高校で「公共」が必修修化となり、主権者教育としての財政教育の重要性も増している。
- 令和6年10月、財政教育の担い手育成を目的に大阪教育大学と連携協定を締結。若者向け主権者教育としての財政教育の一層の充実を図る。

取組の成果

- 締結式当日は、連携協力の一つとして、社会科教員を志す大阪教育大学の学生に出前授業(財政教育プログラム)を実施。



(今後の展開)

- 同大学が提供する、「教員生涯学習プラットフォーム」へ財政教育に関するコンテンツを掲載し、教員や学生がオンラインで財政授業を受けられる仕組みを構築。
- 教員を志す学生及び社会科等教員向けに、財政に関するセミナーや出前授業を継続実施。また、新たに、連続講座の実施も計画。

小学生向け 地方版 財政教育プログラム (神戸財務事務所×たつの市)

国の財政教育プログラムのノウハウを活かし、地方財政の視点からまちのことを考えるための取組を実施。

概要

- 授業を通じて、国や市の財政に関心を持ち、市の魅力や将来の人口推移を知ってもらう。
- 市の現状や課題を認識してもらい、“住み続けたいまち”にするためには何が必要なのか、一人一人に考えてもらうきっかけとする。



プログラム構成

講義	神戸財務事務所（国の財政/税と公共）
	たつの市（市の財政/課題）

グループワーク	○ 住み続けたいまちとは何かを考える。	発表
	○ 児童が考えたまちを実現するためには、どの分野に予算を使うか考える。	

取組の成果

- 国や市の財政の現状、人口減少などの課題を知るとともに、グループワークでの議論を通じて、“住み続けたいまち”にするために必要なことは何かを考えるきっかけとなった。

グループワークでの意見

花火大会や祭りなどのイベント、公園や大型店舗を増やすことがまちの盛り上がりや人口増加につながる。



【授業の様様】

皆、車を持っているので、公共交通機関に使う予算を減らした方がよい。



不便なので公共交通機関に使う予算を増やした方がよい。

今後に向けて

- 自治体と連携した財政教育プログラムのノウハウを活かし、今後も地域のニーズに応じた取組を広げていきたい。

県内関係機関と連携した金融経済教育の取組

学生の金融リテラシー向上を図ることを目的とし、持続的に金融経済教育を実施するために佐賀県内の関係機関と連携協定を締結。当該協定に基づき、佐賀大学での講座に講師派遣を実施。

概要

- 幅広い学生に金融経済教育を持続的に実施していくために、関係機関（※）と協定を締結し、相互に連携・協力して金融経済教育を実施する体制を構築。

※関係機関

- ・佐賀大学全学教育機構
- ・日本銀行佐賀事務所
- ・一般社団法人生命保険協会佐賀県協会
- ・福岡財務支局佐賀財務事務所

- 当該協定に基づき、佐賀大学の教養教育科目「現代社会の分野特別講義（金融リテラシーと生命保険）」では、金融経済の基礎知識から資産形成、リスク管理など金融庁公表の「最低限身に付けるべき金融リテラシー」を網羅した内容の講義を実施。
- 金融経済教育推進機構（J-FLEC）も活用し、専門分野の強みを生かした講義を実施。
- 経済学部1年ゼミ生向けの「金融リテラシー・キャリアアップ講座」では、ライフプランニングを題材に講義やグループワークを実施したほか、学生と社会人（民間、公務員）が交流する場を設け、学生のキャリア形成における支援も実施。

取組の成果

- 協定の締結を通じ、関係機関の金融経済教育にかかる取組の機運を高め、佐賀大学での持続的な講義実施へとつながった。
- 関係機関が各専門分野を分担し講義を行うことで、講義内容をより充実させ、学生の理解を深めることができた。
- 関係機関と連携し金融経済教育とキャリア形成支援を併せて行うことで、ライフプランについてより興味・関心を持ってもらう機会を創出できた。

【参加者の声】

- ・簡潔に投資などの基礎が聞けて、分かりやすかった。
- ・金融トラブルは他人事ではないと思った。
- ・自分の人生設計を数字として表すことができたのでとても面白かった。
- ・自分のこれからの人生について考えることができた。
- ・実際に働かれている方々のお話をたくさん聞くことができ、貴重な機会だった。また、将来を考える上でよい機会になった。

